

4月 いちご



だいでまちさんしょくざい しょうかい
大子町産食材の紹介
だいを食べよう

4月は、大子町の『**かっちゃん農園**』（旧大子西中学校の近く）で生産されたいちごを使用します。生産者は大畠一樹さんです。「いばらキッス」と「とちおとめ」を栽培しています。茨城県のいちごは、栽培面積、収穫量いずれも全国第7位（令和5年農林水産省統計）で、全国でも有数のいちごの産地です。



ハウスの様子



おいしいいちごができるまで

- 6月～9月 育苗管理（種をまいてから苗が成長するまで、温度や水、光などの環境を管理すること）
- 9月下旬 定植（苗を苗床から移して、畑に植えること）
- 10月中旬 マルチ張り（作物の株元を覆うフィルム）
- 下旬 ビニール張り
- 11月中旬 ミツバチの設置
（ミツバチは、いちごの受粉のために必要！）
- 12月～5月 収穫
半年をかけて、おいしいいちごが大切に作られているよ！

いばらキッス



「いばらキッス」は、誕生するまでに8年という長い歳月をかけ、平成24年（2012年）12月に品種登録された**茨城県オリジナル品種**です。果肉がしっかりとした「とちおとめ」（母親）に、甘くて大きい「レッドパール」と、酸味が少なくやわらかな「章姫」のかけ合わせ（父親）を交配して誕生しました。甘さと酸味のバランスが良く、濃厚な食味とジュシーな味わいが特長です。

25日（金）の「いちご蒸しパン」は、かっちゃん農園のいちごを使用します。

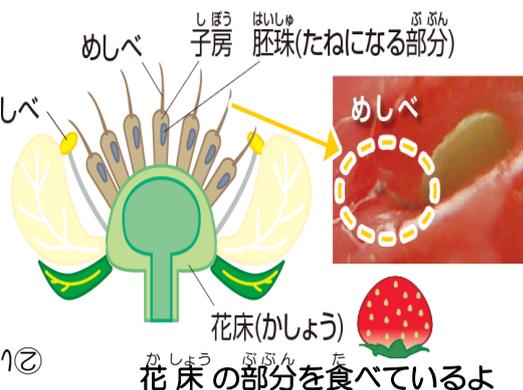
Q. クイズ

いちごの表面にはつぶつぶがあります。このつぶは一体なんでしょう？

- ①いちごの種
- ②いちごの実
- ③いちごのほくろ



つぶつぶは、いちごの本当の実（果実）です。よく見ると先にめしべがあります。この粒の中に、さらに小さいいちごの種があるのです。



A. ③ 美のこ♀い②

花床の部分(かしょう)を食べているよ